

## No.2543

## 比良雪中ハイク

日時： 1月15日（日） 雪 時々 雲り

参加： 右田（L）、嶋原、岡本、芝（体験参加）、佐々木（記）

年末から正月にかけての暖冬の反動のように雪が降り積もる、土・日でした。 日曜の朝に急遽、車から予定どうり電車に変更になり大阪駅集合。 淀川を渡ったあたりから雪となり、京都是真っ白である。 今日、体験参加の芝さんと共に雪の比良にトライする。

比良駅では、2～3のパーティーが出発していく。 我々も雪の世界に出発（9：50）。

イン谷口、トイレのある園地（11：00）では、積雪30cm以上となり先行きが思いやられる。 大山口分岐からダケ道に入るが、雪道は良く踏まれていて難なく歩ける。

途中で休憩中の12～13名のパーティーに追い付くと、その先に道は無い。 このパーティーがラッセルしてくれていたのだ。 礼を言って、今度は我々が前に出てラッセルする事になる。 ここで我々はスノーシューを付けて出発。 交代でラッセルとなるが、膝まで沈み込む雪を踏んでいくのはつらい。 積雪は50～60cmほどか、時々雪の舞う天候に雪まみれになりながら進む。

カモシカ台着（12：45）、ここで昼食にする。 後からのパーティーも同じく昼食のようである。 ツアーのパーティーのようで、ワカンで歩く男女の年齢も技術もバラバラのようである。 ゆっくり昼食を取るが、この先北比良峠までは時間的に無理があるため、時間を決めて歩く事にする（13：15出発）。

カモシカ台の少し上を本日の山頂と考えて、下山する事にする（13：30）。 カモシカ台では、先ほどのパーティーも打ち止めのようで、予定変更との事だ。

下りはしっかりした踏み跡がある為、大山口でスノーシューを脱いで足を軽くして、駅に向かってまっしぐら。

比良駅着（15：20）、雪のせいでダイヤが乱れているが、うまく電車に乗る事が出来た。 大阪で反省会后、解散。 私は、今季初の雪山を楽しむ事が出来た一日でした。 右田リーダー、皆さん、ありがとうございました。 芝さんもワカンで、なかなか慣れた歩きで頑張っておられました。 また、共に山を楽しみましょう！



（大山口分岐、右、ダケ道）



（カモシカ台）



（比良駅前、急に晴れる）